

基礎研究と教育の総合的推進

Promotion of basic research and education of liberal arts

平朝彦 [1]

Asahiko Taira[1]

[1] JAMSTEC

[1] CDEX, JAMSTEC

基礎研究は、好奇心や探究心に基礎を置き、自然観、人間観、社会観を体系化し、新しい知的価値を創造し、文化遺産を築くために行う。それは、人間の知的進化の営みそのものであり、また創造された価値は、教育によって人々に伝えられ、社会の活力の基盤となるものである。基礎研究と応用研究は不可分なものであり、これらは、互いに刺激し合いながらサイクルとなって進歩してゆく。ここ10年間、他の先進国と異なり、わが国では大学への政府投資は減少してきた。さらに大学予算全体の半分は私立大学の人件費であるから、国立大学への投資は悲慘な状態にあると言える。同時に志願者のほとんどが入学できる大学全入時代においては、非常に偏った教育しか受けてこない学生が急増している。すなわち、基礎素養を伝え教育するということが、行われなくなってきた。基礎研究と教育が分断され、さらに両者が同時に疲弊した状態に陥りつつある。今、基礎研究の振興と基礎素養の教育の復活を同時に考え、それを一連の施策として企画・立案・評価するシステムが必要である。幅広い分野の人材を抱える日本学術会議は、学協会と連携し、コミュニティの力を結集して、新しいシステムを作るために活動すべきである。そして、最も大切なのは、政府だけでなく、我々の手で人々を動かすことである。